



山形県感染症発生動向調査

平成30年第23週(6月4日～6月10日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年6月13日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~23週
	第22週	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(20)			(5)			(9)			(13)			
インフルエンザ	932 0.19	6 0.13	3 0.06	▼	6 0.30	3 0.15	▼										16171
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	911 0.29	12 0.40	12 0.40		7 0.54	5 0.38	▽	1 0.33		▽	4 0.67	6 1.00	▲		1 0.13	△	320
咽頭結膜熱	2628 0.83	42 1.40	36 1.20	▼	12 0.92	13 1.00	▲	1 0.33		▽	26 ◎4.33	23 ◎3.83	▽	3 0.38		▽	433
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	9854 3.12	143 4.77	132 4.40	▽	80 6.15	60 4.62	▽	4 1.33	3 1.00	▽	41 ◎6.83	42 ◎7.00	△	18 2.25	27 3.38	△	2742
感染性胃腸炎	22929 7.26	276 9.20	238 7.93	▼	108 8.31	80 6.15	▼	11 3.67	12 4.00	△	97 ◎16.17	90 ◎15.00	▼	60 7.50	56 7.00	▼	4035
水痘	2165 0.69	22 0.73	31 1.03	△	10 0.77	16 1.23	△		4 1.33	△	11 1.83	7 1.17	▽	1 0.13	4 0.50	△	324
手足口病	3020 0.96	10 0.33	21 0.70	△	8 0.62	18 1.38	△	1 0.33		▽	1 0.17	3 0.50	▲				304
伝染性紅斑	704 0.22	26 0.87	22 0.73	▽	1 0.08		▽	1 0.33	1 0.33		24 ◎4.00	19 ◎3.17	▽		2 0.25	△	178
突発性発しん	1835 0.58	19 0.63	22 0.73	▲	3 0.23	9 0.69	△	1 0.33	2 0.67	▲	5 0.83	4 0.67	▽	10 1.25	7 0.88	▽	343
ヘルパンギーナ	570 0.18	17 0.57	21 0.70	△	8 0.62	2 0.15	▽				9 1.50	18 3.00	△		1 0.13	△	102
流行性耳下腺炎	589 0.19	2 0.07	3 0.10	△	1 0.08		▽	1 0.33	1 0.33			1 0.17	△		1 0.13	△	67
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	17 0.02																
流行性角結膜炎	765 1.09	7 0.88	7 0.88		3 0.75	5 1.25	△	1 1.00		▽	1 1.00	1 1.00		2 1.00	1 0.50	▽	47
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	103 0.22		1 0.10	△											1 0.33	△	20
クラミジア肺炎	2 0.00																
マイコプラズマ肺炎	68 0.14	4 0.40		▽	4 1.00		▽										60
細菌性髄膜炎	13 0.03	1 0.10		▽	1 0.25		▽										5
無菌性髄膜炎	9 0.02																3

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者			1		
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1				型別: O157 VT1VT2。
つつが虫病	患者	1				
レジオネラ症	患者				1	
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	3				ワクチン接種歴: 4回 2人、無し: 1人。
百日咳	患者	3		1		ワクチン接種歴: 4回 3人、無し 1人。小児 4人。

<通信欄>

※定点医療機関数が変更になっています。(インフルエンザ定点: 48→47)
 ※インフルエンザの迅速キットによる型別は、すべてA型(3件)でした。
 集団発生は、村山地区 1件(福祉施設: 1)でした。
 ※トピックスで、腸管出血性大腸菌感染症、つつが虫病について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ				1	1					1					
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
															3
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	1	6	2	1	1									12
咽頭結膜熱		7	16	6	5	1	1								36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	4	6	13	13	25	12	9	15	13	18		2	132
感染性胃腸炎		16	32	20	24	30	25	14	15	10	14	29	1	8	238
水痘		1	1	3	4	5	3	4	7		2	1			31
手足口病		1	10	4	1	3	2								21
伝染性紅斑					4	2	4	2	2	6	2				22
突発性発しん		8	13	1											22
ヘルパンギーナ		2	10	2	2	4	1								21
流行性耳下腺炎								2				1			3

<平成30年4月 月報>

2018年5月23日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～4月
	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 22	14	4	7	11	5	2	2	5		74
	定点当り 2.20	1.40	1.00	1.75	11.00	5.00	1.00	1.00	1.67		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 8	11	2	4	2	3	3	3	1	1	39
	定点当り 0.80	1.10	0.50	1.00	2.00	3.00	1.50	1.50	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 3	3	1	1			1		1	2	11
	定点当り 0.30	0.30	0.25	0.25			0.50		0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数 4	2	1	2					3		9
	定点当り 0.40	0.20	0.25	0.50					1.00		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 9	11			2	2	2		5	9	29
	定点当り 0.90	1.10			2.00	2.00	1.00		1.67	3.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 21	18	13	11	1	1	1		6	6	72
	定点当り 2.10	1.80	3.25	2.75	1.00	1.00	0.50		2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

【腸管出血性大腸菌感染症情報】

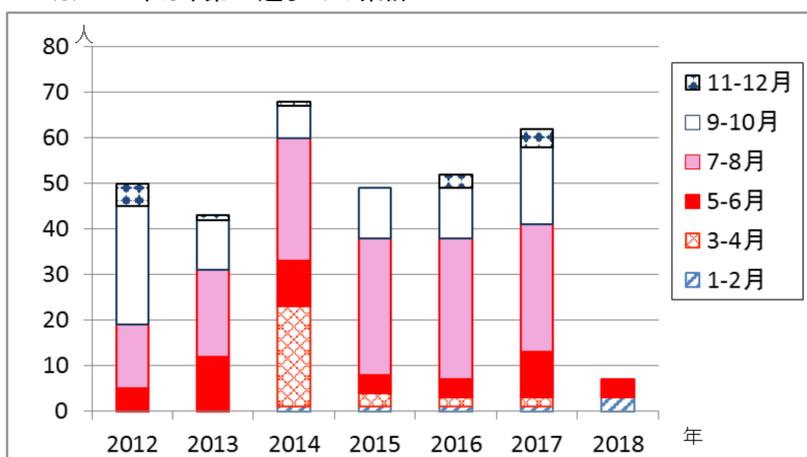
第23週に、腸管出血性大腸菌感染症の患者が1名報告されています。春から夏に多発する感染症ですので、食品を扱う際には、十分に手洗いするとともに、食品の温度管理と十分な加熱、調理器具の消毒を心がけましょう。

《感染者の内訳 (平成30年第1週からの合計)》

①地区別		②型別		
村山地区	: 4名	O血清型	ベロ毒素型	報告数
最上地区	: 0名	O115	VT2	1
置賜地区	: 0名	O121	VT2	3
庄内地区	: 3名	O157	VT2	1
計	7名		VT1VT2	1
		OUT	VT1	1
		合計		7

《年間報告者数》

※2018年は、第23週までの累計

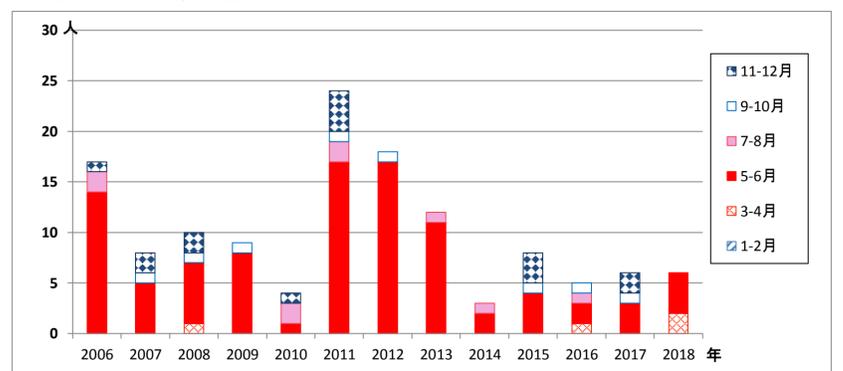


【つつが虫病情報】

第23週につつが虫病の患者が1名報告されました。つつが虫病は山形県では、春から初夏にかけて多く発生しますので、今後も注意が必要です。

《つつが虫病報告数(山形県)》

※2018年は第23週までの累計



《症状・治療》発熱(38～40℃)、発疹、ツツガムシ幼虫の刺し口が見られることが特徴です。これらの症状は、ツツガムシ幼虫に刺されてから5～14日後にみられます。

治療法としては、テトラサイクリン系抗生物質が極めて有効で、早期に治療すれば完全に治ります。しかし、治療が遅れば重症化する場合があるので、早期に治療を受けられるよう、**受診の際は、医師に数日前にツツガムシのいそうな場所に立ち込んだことや、刺し口があることを伝えましょう。**

《予防法》ツツガムシは、田畑、山林、やぶ、河川敷、草原等に生息しています。これらの場所に立ち入る時は、次のようなことを心がけることが大切です。

- ①長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌をできるだけ露出しない。
- ②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。
- ③なるべく草むらに直接座らない。
- ④帰宅したら早めに入浴し、ツツガムシ幼虫を洗い流す。